

Blueair

取扱 説明書



スマートフォン
スキャンしてサポート
を受ける

DreamWell™
Humidifier
H38i



目次

ご使用の前に、本書を必ずよくお読みください。

本書は紛失しないよう、大切に保管してください。

本書の最新版データは、www.blueair.jp に掲載されています。

尚、意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更する場合があります。

目次

安全上のご注意	3
本商品について	7
初めて使うとき	8
初めて接続するときのヒント	9
各部名称	10
操作パネルの使い方	11
操作パネル表示	12
セントポッドについて	13
お手入れする	14
別売アクセサリー	19
本体を移動する	20
困ったときは	21
本体の廃棄、アフターサービス、保障について	23
主な仕様	24

安全上のご注意

本商品は屋内使用専用です。安全を十分に考慮して設計されておりますが、一般に電気製品は取り扱いを誤ると大きな事故につながることがあります。次の注意事項をお守りになり、安全にご使用ください。



警告

次の警告事項を必ずお守りください。警告を守らずに使用した場合、火災や感電などにより使用者の死亡や大けがを伴う事故につながることがあります。



この行為を必ず実行してください。

指示

煙が出る、変な臭いがするなどの異常、および部品の破損、故障時には、ただちに使用を中止する、明らかに損傷している場合、稼働させない
そのまま使い続けると、発火や感電の原因になるおそれがあります。異常を感じた場合は、すぐに運転を停止し電源プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。

電源プラグを電源コンセントに差し込むときは、まっすぐに突き当たるまで差し込む
外れかけたまま使用すると、感電や火災の原因になります。

交流100Vで使用する

本商品は日本国内専用です。交流100V以外で使用すると、火災の原因になります。

電源プラグと電源コンセントの接続部分は、ホコリなどを定期的に除去する

電源プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。

電源コンセントから電源プラグを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜く

コードを引っ張ると、コードの中の電線が切れ、ショートによる感電や火災の原因になります。

水分がかかるない場所に設置し、周囲が乾いていることを確認してから電源プラグを差し込む

火災や感電の原因になる場合があります。また、ペットの尿やケトルからの水蒸気などがかからないようご注意ください。

子どもが本商品で遊ばないように注意する
けがや故障の原因になります。事故の原因になります。



プラグを
コンセント
から抜く



プラグを
コンセント
から抜く

長い間使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いておく

電源プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。

フィルター交換やお手入れ点検本体の移動時には必ず、運転を停止し電源プラグを抜き、ファンが停止していることを確認する

タンクに直接水を入れる場合、給水の前に運転を停止し電源プラグを抜き、ファンが停止していることを確認してから本体から完全に取り出してください

水が漏れて家財を濡らしたり、故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。



禁止

この行為は禁止されています。

電源プラグが電源コンセントの形状に合わない場合、電源プラグを変形させて無理矢理差し込む感電や故障の原因になります。

付属の電源アダプター(#HCX1202-1201000J)以外を使用しない
火災や感電、故障の原因になります。

運転中に電源コンセントから電源プラグを抜かない
火災や感電の原因になります。

電源アダプター(コード含む)を熱器具に近づけない
火災や感電の原因になります。

付属の電源アダプターを本商品以外に使用しない
火災や感電、故障の原因になります。

安全上のご注意



この行為は禁止されています。

禁止

子どもや身体、感覚または思考能力が低下していたり、経験や知識が不足している方は、保護責任者から指示、監督されない環境において使用したりお手入れしないけがや事故の原因になります。

電源アダプター（コード含む）に負荷をかけない（加工する、傷つける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、束ねる、挟む、ペットがかじるなど）
感電や火災、ショートの原因になります。

電源タップや延長コードを使った「たこ足配線」定格を超えた接続をしない

電源コードや電源プラグの負荷が大きくなり、感電や火災の原因になります。

電源アダプター（コード含む）が破損した場合は、そのまま放置したり自分で修理したりしない

破損した状態のまま使用し続けると感電や火災ショートの原因になります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。

吸込口・吹出口や本体のすき間に指や金属物などの異物を入れない

感電やけが、故障の原因になります。

次のような可燃性の高いものを本体や電源プラグに近づけない

- ・ヘアスプレーや殺虫剤、消臭剤など
- ・火のついたタバコや線香など
- ・ベンジンやシンナーなど

引火や感電の原因になります。

腐食性物質や有機溶剤（例：ベンジン、シンナー、アルコール、ガソリンなど）を使ってお手入れしない
故障の原因になります。

電源がオンのまま横転させたり水を捨てたりしない
水が漏れて家財を濡らしたり故障破損感電やけが、漏電の原因になります。

電源アダプター（コード含む）をカーペット、家具、電化製品の下に通したり、敷物で覆ったりしない
火災や故障のおそれがあります。

コードは通路に近づけない
転倒したり、水が漏れて家財を濡らしたり、故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。

UVCライトを本体の外で動作させたり本商品以外で使用しない本体やUVC搭載ユニットが破損した場合には使用しない
ポンプユニットには除菌を目的とした深紫外線（UVC）ライトを搭載しています。ポンプユニットに損傷がある場合、UVCが漏れる可能性があり危険です。UVCはわずかな量であっても、目や皮膚に害を及ぼす可能性があります。

UVCライトに触ったり、取り出したり分解・交換したりしない
けがや故障の原因になります

運転中に本体内部をのぞきこまない

UVCを直接見ると、UVCが目や皮膚に害を及ぼすおそれがあります。



自分で本商品や電源アダプターを分解や改造、修理しない

商品内部には電圧の高い部分があります。感電や火災の原因になりますので、分解や改造、修理をしないでください。



濡れた手で電源プラグをさわらない

濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因になります。

濡れ手禁止



本体に水をかけない、本体を濡らさない
故障破損感電やけが、漏電の原因になります。

水濡れ禁止



油や可燃性ガスなどを使用する場所、漏れるおそれのある場所に設置しない
引火や、ガス吸引による発火や発煙の原因になります。

可燃物禁止

安全上のご注意



注意

次の注意事項を必ずお守りください。注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながることがあります。



この行為を必ず実行してください。

指示

壁などから10cm以上離して設置する

空気の流れが悪くなり、発熱や発火の原因になります。

安定した水平な床面に設置する

本商品は床置き専用です。壁にかけたり、棚に置いたりはできません。万一、本商品が転倒すると、けがや家財破損の原因になります。

燃焼器具と一緒に使う場合は必ず換気する

本商品は換気が出来ません。そのため燃焼器具から発生する一酸化炭素による中毒の原因になる場合があります。

加湿フィルター交換お知らせランプが点灯したら、交換する

加湿効果が得られないばかりか、故障の原因になります。

ブルーエア純正の付属品・加湿フィルターを使用する

火災や設置不良による感電、けがなどの事故、故障の原因になります。純正品以外の付属品やフィルターを使用して生じた故障は保証の対象外です。

注ぎ口から給水する場合は給水前に本体をスタンバイモードにする

本体が故障するおそれがあります。

注ぎ口から給水する際、水位が水タンク窓の上端に達したら、それ以上注がない

過剰な給水は水漏れや故障の原因となります。

加湿フィルターを洗濯機で洗うときは洗濯ネットに入れて市販の洗剤を使用する

破損し加湿効果が得られないおそれがあります。

移動するときは、完全にロックした状態で移動する

落さによるけがや故障の原因になります。

本書のお手入れ方法に従い、定期的にお手入れする
加湿効果が低下します。

フィルター・タンクは正しく取り付けて運転させる
加湿効果が得られなかったり故障の原因になります。

凍結の恐れがあるときはタンク内の水を捨てる
水が凍結した状態で稼働させると故障の原因になります。

タンクを取り外して給水した後はタンクの水分をきれいに
拭き取る
感電や故障の原因になります。

使用しないときは、タンクとポンプユニットのトレーの
水を捨て、乾燥させて保管する

汚れや水垢により、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因にな
ります。稀に体质によっては過敏に反応し、健康を害する
ことがあります。この場合は医師にご相談ください。

タンクの水やタンクを常に清潔にする
タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替える

お手入れせずに水垢や汚れ、白い塊が残ったまま使用する
と、水漏れ、カビや雑菌が繁殖して悪臭の原因、稀に健康を
害する原因になります。体調に異常があつたときは医師に
ご相談ください。タンク、本体は定期的にお手入れして
ください。

使用中は、窓や扉を閉めて使用する
加湿効果が得られないおそれがあります。

本体を移動させるときはタンク内の水を捨てる
水が漏れて家財などを濡らしたり、感電や漏電の原因に
なります。

加湿フィルターを洗濯する場合は 40°C以下の水で
洗う
破損し加湿効果が得られないおそれがあります。

安全上のご注意



この行為は禁止されています。

禁止

上に乗ったり、寄りかかったり、横倒にしたり、上に物をのせたりしない
転倒によるけがや故障の原因になります。

浴室など高温多湿、水のかかる場所に設置しない
火災や感電の原因になる場合があります。

動植物に直接風が当たる場所に設置しない
動植物に長時間風があたり、乾燥する原因になります。

カーテンや物で吸入口や吹出口を塞がない
発熱や発火の原因になります。

発煙または霧タイプの殺虫剤使用時には運転しない
本体内部に蓄積した薬剤成分が、再運転後に吹出口から放出され、健康を害する場合があります。殺虫剤の使用後は十分に換気をおこなってからご使用ください。

加湿フィルターを取り外した状態で稼動させない
加湿効果が得られない他、故障の原因になります。

直射日光が当たる場所で使用しない
変色の原因になります。

ストーブやガスコンロなどの熱源のそばで使用しない
熱で破損したり、変色するおそれがあります。

加湿フィルターを乾燥機で乾かさない
熱で破損したり、変色するおそれがあります。

加湿フィルターを漂白・アイロン掛けをしない
破損したり、変色するおそれがあります。

加湿フィルターの洗濯時、漂白剤・柔軟剤・強い薬剤を使用しない
破損したり変色するおそれがあります。

フィルターを外したり、プラスチックの包装がついた状態のまま運転しない
本商品の本来の加湿効果が得られないばかりか、故障の原因になります。

吹出口から出るミストを故意に吸引しない
健康を害するおそれがあります。

タンクの水を飲料用に使用しない。また、動植物にも与えない
体調不良や悪影響を及ぼすおそれがあります。

タンクを外したまま運転しない、稼動中にタンクを外さない、
水がない状態で加湿機能を稼動させない、最大給水量を越えてタンクに水を入れない
水漏れによる感電やけが、故障の原因になります。

美術品や学術資料の保存など、特殊用途には使用しない
保存品の品質低下の原因になります。

美術品、電子機器（テレビ、パソコン、ピアノ、特殊な塗装家具など）の近くで使用しない
湿気を含んだ風や転倒による水漏れで美術品や機器が破損・故障することがあります。

加湿しすぎない
室内の結露やカビが発生する原因になります。

水道水以外はタンクに入れない

40度以上の温水、汚れた水、アロマオイル、次亜塩素酸などの化学薬品、芳香剤や洗剤を入れた水、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など。本体の変形や故障の原因になります。また、加湿フィルターが目詰まりしたり、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

アロマオイルを直接タンクに入れない
本来の加湿効果が得られないばかりか、故障の原因になります。アロマオイルはセントボッドに垂らして使用してください。

加湿フィルター以外のパーツを洗濯機で洗わない
故障や変形するおそれがあります。

タンク以外のパーツを食器洗い機に入れない
故障するおそれがあります。

本商品について

製品名	モデル番号
DreamWell™ Humidifier Stone Grey H38i	3331911000
DreamWell™ Humidifier Coastal Beige H38i	3331912000

本商品は気化式を採用した、ミストが出ないタイプの加湿器です。

目に見える蒸気は発生しませんが、衛生面に配慮した安全設計の気化式加湿器です。

本商品には、操作パネルとセンサー機能を備えており、本体のディスプレイでは室内の湿度を表示します。本体の設定は、本体ディスプレイの操作またはBlueairアプリから、いつでも変更することができます。Blueairアプリでは、本体ではできない細かな設定を行えます。

加湿性能を最大限に発揮するためには

- ・推奨フロア面積を目安とした広さの空間でご使用ください。
- ・本体周辺に空気が循環できるスペースを空けてご使用ください。
- ・本体の周辺10cm以内には物を置かないでください。
- ・部屋の窓やドアを開めた状態でご使用ください。
- ・Blueair 純正の付属品と加湿フィルターをご使用ください。
- ・ディスプレイに加湿フィルター交換お知らせランプが点灯したら、フィルターを交換してください。
- ・その他本書「お手入れする」の記載内容に従って定期的にお手入れをしてください。

電波に関するご注意

本商品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。以下の機器や無線局は、本商品と同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。これらの近くで本商品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。

- ・産業・科学・医療機器（電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ベースメーカーなど）
 - ・免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
 - ・免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
- 以下の機器や無線局の近くで本商品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- ・心臓ベースメーカーなどの医療機器に影響が及んだ場合、速やかに本商品の電源をお切りください。
 - ・特定小電力無線局、機内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、ブルーエアサービスセンターにお問い合わせください。

初めて使うとき

手順1

Blueair タグを引き出し、セントポッドホルダーを取り出します。セントポッドのフィルムをはがし、お好みのエッセンシャルオイルを数滴垂らしてください。その後、セントポッドホルダーを本体に戻します。

手順3

電源アダプターをコンセントに差し込み、本体の電源をオンにします。

Blueair アプリに接続する

Blueairアプリに接続すると、離れた場所から本体を操作したり、加湿フィルターの寿命やタンク内の水の残量を確認することができます。Blueair アプリを使用すると、本体の操作パネルではできない細かな設定もできるようになります。

手順1 App Store または Google Play から Blueair アプリをダウンロードします。

手順2 アプリを開き、「Blueair アカウントを作成する」または、「サインイン」します。

手順3 「本体を接続する」をクリックし、「Humidifier (加湿器)」を選択します。

指示に従ってアプリのペアリングを完了します。

初めて接続するときのヒント

本体は必ずオンにしてください。オート湿度設定ボタンを約5秒間長押しし、本体とのペアリングを準備します。本体のWi-Fiインジケーターが点滅すると、アプリとペアリングする準備ができるサインです。



初回ペアリング時には
Bluetoothが必要です。スマート
フォンのBluetoothをオンし、
ペアリングのためにスマート
フォンを本体から1メートル
以内の距離に保ちます。



本商品は2.4GHz Wi-Fiのみに
接続できます。デュアルバンド
Wi-Fiルーターを使用している
場合は、必ず2.4GHzを選択して
ください。



初回ペアリング時には、
本体をWi-Fiルーターから
4.5メートル以内に設置し
てください。



Wi-Fi接続の手順は、アプリのバージョン
アップデートにより一部変更される場合が
あります。内容に相違がある場合、最新版
アプリが示す手順に従って登録してくだ
さい。

Wi-Fi接続について、詳細やご不明な点は、
Blueair アプリまたは www.blueair.jp より
ご確認ください。

初めて接続するときのヒント

Wi-Fiペアリングのオン/オフ

Wi-Fiに接続せずに本体を使用する場合は、オート湿度設定ボタンを約15秒間長押ししてから離すことで、Wi-Fi機能を無効にできます。

本体をWi-Fiに再接続するには、オート湿度設定ボタンを約5秒間長押しし、本体とのペアリングを準備します。

本体のWi-Fiインジケーターが点滅すると、アプリとペアリングする準備ができたサインです。



5秒 / 15秒

ディスプレイの明るさ調整

運転スピードボタンと電源ボタンを同時に押します。

そのまま電源ボタンを押し続けた状態で、運転スピードボタンをタップすると、明るさを調整できます。

明るさの調整は、Blueairアプリからも行えます。



Step 1



Step 2

フィルター交換後のリセット方法

運転スピードボタンを約15秒間長押しし、ディスプレイのLEDが点灯したらボタンを離してください。

注意

加湿フィルターを交換した後は、必ず本体でリセット操作を行ってください。

正しくリセットされると、加湿フィルター交換お知らせランプが3回点滅して消灯します。



15秒

工場出荷時設定にリセットする方法

電源ボタンを約15秒間長押しし、ディスプレイ上のすべてのLEDが点灯して4回点滅したら、ボタンを離します。

リセットが完了すると、本体は初期設定状態に戻り、自動的にスタンバイモードになります。

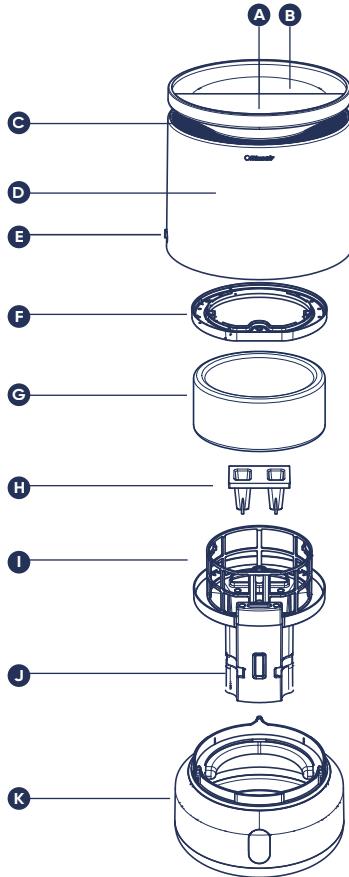
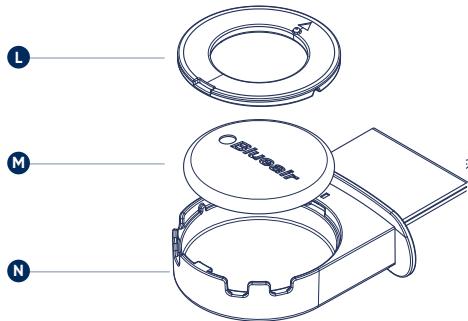


15秒

各部名称

操作パネル

- Ⓐ 操作パネル
- Ⓑ 注ぎ口
- Ⓒ 吹出口
- Ⓓ 上部カバー
- Ⓔ スライドロック（両サイド）
- Ⓕ 加湿フィルターカバー
- Ⓖ 加湿フィルター
- Ⓗ ウォーターリフレッシャーカバー
- Ⓘ ポンプユニット
- Ⓙ カートリッジ（ポンプ用プレフィルター）
- Ⓚ タンク
- Ⓛ セントポッドカバー
- Ⓜ セントポッド
- Ⓝ セントポッドホルダー（本体背面）



* ウォーターリフレッシャーは付属していません。別売りです。
* 図には記載されていませんが、専用電源アダプターも同梱されています。

操作パネルの使い方



電源

電源のオン / スタンバイを切り替えます。



運転スピード

タップするとナイトモード、1-2-3の中から運転スピードを選択できます。

ディスプレイには現在の風量レベルが表示されます。

※ナイトモードでは運転スピードが最低速度まで落ち、ディスプレイの明るさも暗くなります。



オート湿度設定

タップすると、自動で湿度を設定できます。自動で加湿量を調整し、設定した湿度に保つようになります。

上下の切り替えボタン(点滅時)を使用して、湿度を 30%~60% の範囲で設定できます。

設定後、約 3 秒待つと自動的に設定されます。

※操作が行われない場合、自動的に推奨値の 50% に設定されます。

※より詳細な設定をご希望の場合は、Blueair アプリをご利用ください。



チャイルドロック

チャイルドロックボタンを約 5 秒間押しすることで、オンオフを切り替えます。ロックが有効になると、電源以外のボタンの操作できなくなります。

チャイルドロックが有効な状態で他のボタンに触ると、ディスプレイが点滅してロック中であることを知らせます。



ベッドライト

タンク内ライトの ON/OFF や明るさを調節できます。

明るさは「ソフト」「ノーマル」「ウォーム」の 3 段階から選択できます。

操作パネル表示



ナイトモード/ 運転スピード

運転スピードを調整すると、選択したモード（ナイトモード・1・2・3）がディスプレイに表示されます。



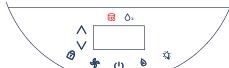
オート加湿について

初期設定の湿度「50%」が表示され、上下ボタンで設定湿度を調整することができます。設定の約3秒後に確定されます。その後、表示は室内湿度に切り替わります。



給水レベル表示

- 赤色：タンクが空です。給水してください。
- オレンジ色：タンクがほぼ満水です。水を入れすぎないようご注意ください。



フィルター交換

加湿フィルターの交換時期になると、加湿フィルター交換お知らせランプが赤く点灯します。最適な性能を保つため、点灯したら新しい加湿フィルターに交換してください。
交換後は、運転スピードボタンを約15秒間長押しして、リセットしてください。



給水表示

ディスプレイに水滴のアイコンが表示され、リアルタイムでタンク内の水の量が確認できます。



ムードライト

ディスプレイにライトのアイコンと、「ソフト」から「ウォーム」までの3段階の明るさレベルが表示されます。



加湿フィルター 乾燥機能について

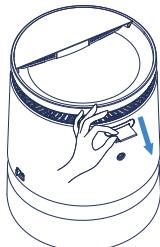
使用後、加湿フィルターを早く乾燥させることができます。
「加湿フィルター乾燥」機能は、Blueairアプリで設定できます。

セントポッドについて

お気に入りの香りを空気中にやさしく拡散する、セントポッドが付属しています。

使い方

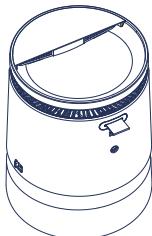
本体背面の Blueair のタグを引いて、セントポッドホルダーを取り出してください。



加湿器の最適な性能を引き出すために、タンクが満水の時に、お好みのエッセンシャルオイルをセントポッドに 3~6 滴加えることをおすすめします。



セントポッドホルダーを元に戻し、本体の電源を入れてください。運転スピードを調整することで、香りの強さをコントロールできます。



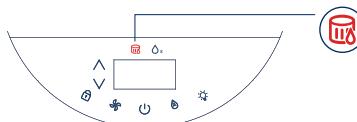
<セントポッドのお手入れ方法>

セントポッドをセントポッドホルダーから取り外し、表面の汚れやオイルを乾いた布で拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、ぬるま湯に少量の中性洗剤を加えてすすいでください。完全に乾かしてから、セントポッドホルダーに戻してください。

お手入れする

重要！お手入れする際の注意

- ・お手入れをする前には必ず本体をスタンバイモードにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・感電やけが、故障の原因になりますので、吸込口や吹出口など本体のすき間に異物を入れないでください。
- ・故障の原因になりますので、腐食性物質や有機溶剤(例：ベンジン、シンナー、アルコール、ガソリンなど)を使用してお手入れしないでください。
- ・濡れた布でお手入れをした場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、本体がきちんと乾いていることをご確認ください。



加湿フィルター交換お知らせランプが赤く点灯したら、
加湿フィルターの交換時期です。

加湿フィルターについて

加湿フィルターは洗濯機で洗うことができます。

水温 40°C 以下の洗濯機のドライコースやデリケートコースを選択してください。

加湿フィルター交換について

ご使用状況とセンサーで感知した数値に基づき、加湿フィルターの使用残を計算します。フィルター交換の時期になると、加湿フィルター交換お知らせランプが赤色に点灯しお知らせします。ご使用の環境により異なりますが、最適な性能を保つために、1日 10 時間の使用を基準として、最長 12 カ月ごとの交換をおすすめします。また、性能を最大限に発揮するため、Blueair 純正のフィルターをご使用ください。純正以外のフィルターを使用して故障した場合、保証の対象外となります。シリアル番号とモデル名は、上部カバー内側に記載されています。新しいフィルターは、www.blueair.jp からご注文いただくなか、Blueair フィルター定期便にお申し込みください。

<ブルーエアフィルター定期便>

https://store.blueair.jp/category/FILTER_SUBSCRIPTION/



重要：本体を移動させる前やお掃除などのお手入れを行う前には、必ず本体をスタンバイモードにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。加湿フィルター交換後、手動でフィルター交換時期をリセットする必要があります。加湿フィルター交換お知らせ時期のリセットは、運転スピードボタンを約 15 秒間長押しします。正しくリセットされると、加湿フィルター交換お知らせランプが 3 回点滅して消灯します。

お手入れする

本商品の加湿機能を最高の状態に保つためには、定期的なお手入れが欠かせません。
お手入れの際は、以下の推奨事項に従ってください。

お手入れ方法

	パート	頻度	お手入れ方法・備考
お手入れパート	タンク	週に1回	中性洗剤を使い、研磨剤や漂白成分（酸素系・塩素系を含む）を含む洗剤の使用は避けてください。 給水タンクは食洗機対応ですが、他の部品は食洗機に入れないでください。 洗浄後はタンクをしっかり拭き取り、乾燥させてから再組み立てしてください。※耐久テスト（158°F/70°C以上、50~90分サイクル、主要洗剤使用）に基づく。
	加湿フィルター	1~2週間に1回	家庭用の中性洗剤のみ使用してください。 洗濯ネットを使用し洗濯機で洗う場合は、洗濯ネットに入れて市販の洗剤を使用してください。 水温40°C以下のドライコースで洗濯してください。 洗濯後は陰干してください。衣類乾燥機を使用する場合は低温設定（60°C以下）で乾燥させてください。 漂白剤・柔軟剤・強い薬剤を使用しないでください。 アイロン掛けはしないでください。
	カートリッジ・ポンプ用プレフィルター	汚れが気になるとき	水洗い、またはクエン酸を使って洗いすいでください。 推奨：水1Lにクエン酸20gが適量。1時間浸した後水道水でよくすいでください。
	ポンプユニット	汚れが気になるとき	ポンプユニットやトレーは水洗い、または水分を含ませて固く絞った清潔な布で汚れを拭き取ってください。 ※ご使用にならない場合は、水が付着したまま放置しないでください。
交換パート	加湿フィルター ポンプ用プレフィルター	約9~12カ月に1回交換	ポンプ用プレフィルターは加湿フィルターに同梱。 ※1日10時間使用した場合の目安
	ウォーターリフレッシャー	約3~6カ月に1回交換	3個セットで別売りしています。 ※1日5L使用した場合の目安
	セントポッド	ニオイや汚れが気になるとき	3個セットで別売りしています。

その他のパートのお手入れ

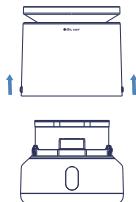
- ・本体(注ぎ口、操作パネル、吹出口含む)は、水分を含ませて固く絞った柔らかく清潔な布で拭いてください。
 - ・電源コードや電源プラグは、摩耗や破損していないことを確認してください。
- ※各種フィルターの交換方法やお手入れ方法の詳細は、次ページ以降をご参照ください。

お手入れする

加湿フィルターの交換方法

手順 1

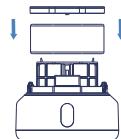
本体をスタンバイモードにし、電源プラグを抜いてください。スライドロックをスライドしロックを解除した後、上部カバーをタンクから取り外します。



手順 3

新しい加湿フィルターをポンプユニットに取り付け、加湿フィルターカバーの突起部の位置に合わせて、ポンプユニットに戻して取り付けてください。

正しく装着されると「カチッ」と音がします。



重要

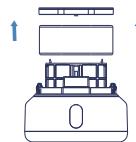
交換後は、加湿フィルター、加湿フィルターカバー、ポンプユニットを確実に本体へ元通りに取り付けてください。

手順 2

加湿フィルターカバー「内側」にある突起部 2か所を「外側に」押しこみ、加湿フィルターカバーを外します。

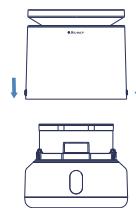
加湿フィルターのタグを引きながらポンプユニットから外します。

※使用済み加湿フィルター以外は廃棄しないでください。



手順 4

上部カバーをタンクに戻してください。正しく装着されると「カチッ」と音がします。次に、側面の固定用スライドロックをスライドさせ、本体をしっかりと固定してください。



※ 交換後、運転スピードボタンを約 15 秒間長押し フィルター交換時期をリセットしてください。

お手入れする

タンクへの給水方法

注意：加湿機能を正常に稼動させるために、タンクは週1回掃除してください。

タンクの水は毎日交換し、タンクのお手入れは「お手入れする」を参照の上行ってください。

給水する際、お手入れの前は必ず本体をスタンバイモードにし、ファンが作動していないことを確認してください。

タンクへの給水方法は、以下の2通りがあります。

1: 注ぎ口から給水する(推奨)

水を真上からゆっくりと注いでください。

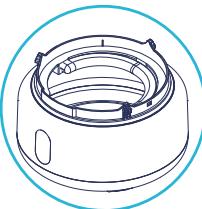
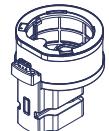


注意：水位が水タンク窓の上端に達したら、それ以上注がないでください。過剰な給水は水漏れや故障の原因となります。

2: タンクに直接給水する

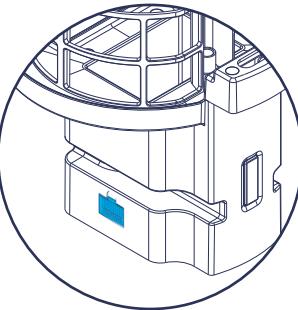
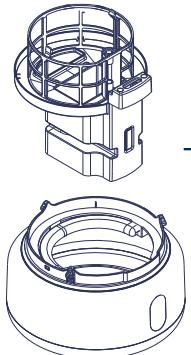
スタンバイモードにしファンが止まったら、電源アダプターをコンセントから抜きます。スライドロックを右にスライドし、本体のロックを解除してください。上部カバー、加湿フィルター、ポンプユニットの順に取り外し、タンクに給水してください。

注意：給水の際は、水位レベルが水タンク窓の上端に達したら、それ以上注がないでください。過剰な給水は水漏れや故障の原因となります。



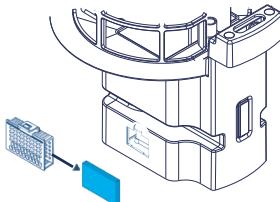
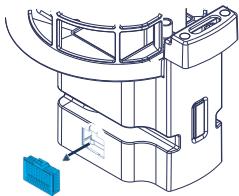
お手入れする

ポンプ用プレフィルターの交換方法



手順1

タンクからポンプユニットを取り外します。



手順2

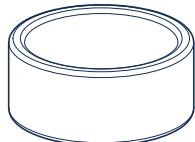
ポンプ用プレフィルター カートリッジの突起部を押し、ゆっくりと本体から取り外します。

カートリッジ内のプレフィルターを取り外し、新しいプレフィルターに交換した後、ポンプユニットを逆の手順でタンクに取り付けます。

別売アクセサリー

※アクセサリーは別売です。
以下のオプションをご用意しています。

交換用加湿フィルター



ウォーターリフレッシャー

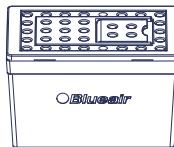
タンク内の水を清潔に保ち、ミネラルの付着を抑え、掃除の手間を軽減します。

内部の成分がミネラル分を吸着することで、加湿器の性能を長持ちさせます。

最適な効果を保つために、3~6カ月ごとの交換をおすすめします。

※1日5L使用の場合の目安。使用状況によって交換時期は異なる場合があります。

セントポッド



※ウォーターリフレッシャーをセットするときは、ポンプユニットからウォーターリフレッシャーカバーを外してセットしてください

本体を移動する

本体が完全にロックすると、上部・中央部・下部のどこを持っても持ち上げることができます。



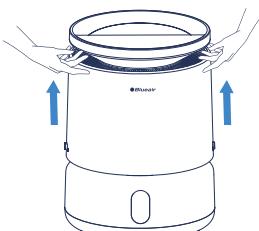
ロック



ロック解除

スライドロックをスライドすると
ロック / ロック解除されます。

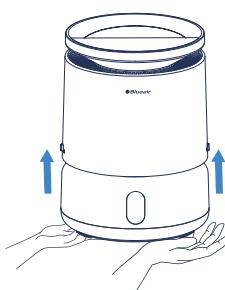
上部



中央部



下部



困ったときは

このようなときは	考えられる原因	次をお試しください
ミストが見えない	この加湿器は気化式を採用しており、ミストが出ないタイプです。 目に見える蒸気は発生しませんが、衛生面に配慮した安全設計の気化式加湿器です。	—
加湿器が動作しない	タンクの水がなくなっている。	給水ランプが点灯しているか確認し、タンクに水を補充してください。
	オート加湿で、設定した湿度に達している	本体のディスプレイまたはアプリで、設定した湿度に達しているか確認してください。 設定湿度に達すると、本体は自動的にスタンバイモードになります。
	ポンプユニットと上部カバーが正しく装着されていない、または、ずれている	本体上部カバーを外し正しく装着してください。
湿度が変化しない	オート加湿で設定した湿度に達している	設定湿度を上げてください。 運転スピード(風量)を手動で選択してください。
オート加湿で湿度を設定しても達しない	室温、部屋の広さ、外気の温度などの外部要因により、設定した湿度に達しない場合があります。 これらは加湿器の制御範囲外であり、必ずしも設定湿度を達成できるとは限りません。	運転スピードを「3」に上げてみてください。 または、気温が高い時間帯に再度お試しください。
加湿器や加湿フィルターに目に見える汚れや変色がある	加湿器は水道水で安全にご使用いただけます。	水中の不純物は加湿フィルターに捕集されるため、目に見える汚れや変色は正常な動作の証拠です。 安心してご使用ください。

困ったときは

このようなときは	考えられる原因	次をお試しください
本体をアプリに接続できない	ペアリング中、本体がスマートフォンやルーターから遠すぎる可能性があります。	1.ペアリングするとき、お使いのスマートフォン、本体、Wi-Fiルーターが同じ部屋にあり、4.5メートル以内にあることを確認してください。ペアリングが完了したら、本体を希望の場所に設置できます。 2.本体の電源プラグがコンセントに差し込まれ、電源が入っていることを確認してください。
	Blueairアプリが最新ではない可能性があります	アリストアからBlueairアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。
	ルーターの電源が入っていないか、接続されていない可能性があります。 ルーターが通常の接続状態ではない可能性があります。	以下の点を確認してから、本体との接続を再度お試しください。 1.インターネットが現在稼働していますか 2.2.4Ghz ネットワークを使用していますか 3.VPNは無効になっていますか
	Bluetoothが無効になっている可能性があります。	スマートフォンの設定でBluetoothが有効になっていることを確認してください。
本体の接続が切れた	一時的なWi-Fiの通信障害が発生した可能性があります。 Wi-Fiまたはルーターの設定が変更になった可能性があります。	数分経っても自動的に再接続されない場合は、以下をお試しください。 1.Blueairアプリを開きます。 2.お使いの商品を選択し、「本体を設定する」をタップします。 3「本体を削除する」をタップします。 4.ホーム画面に戻り、「本体を接続する」をタップします。 本体の接続手順に従い再度接続してください。

その他の問題が起きた場合は、www.blueair.jp/supportをご確認いただくか、ブルーエアサービスセンターへお問い合わせください。

本体の廃棄、アフターサービス、保障について

本体を廃棄するときは

本商品を廃棄する場合は分解せず、自治体の指示に従い決められた方法で廃棄してください。

アフターサービスについて

困ったときや、消耗品をお求めの際は、www.blueair.jp をご確認いただくか、ブルーエアサービスセンターへお問い合わせください。

保証について

本書に記載された内容に従わず使用して故障した場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。

返品のご相談

商品の返品につきましては、お買い上げいただいた店舗へご相談ください。

お客様相談窓口のご案内

ブルーエアサービスセンター

0120-974-419 平日9:30～17:30（土日・祝日・年末年始除く）

携帯電話からもご利用いただけます。

発売元：セールス・オンデマンド株式会社

住所：東京都品川区上大崎二丁目15番19号 MG目黒駅前ビル 713



スキャンしてサポート
を受ける

主な仕様

主な仕様

製品名	DreamWell™ Humidifier H38i	
本体カラー	Stone Grey	Coastal Beige
品番	113912	113369
モデル番号	3331911000	3331912000
電源	アダプター定格入力：100 V AC, 50/60Hz, 0.5A アダプター定格出力：12VDC, 1A	
最大消費電力	12 W	
運転音	19-40 dB(A)	
外形寸法	直径約 245 × 高さ約 330 mm	
本体質量	約 2.8 kg	
タンク容量	約 3.8 L	
加湿方式	気化式	
フィルター/付属品交換目安	加湿フィルター：約 9～12カ月 ¹ ポンプ用プレフィルター：約 9～12カ月 ¹ ウォーターリフレッシャー：約 3～6カ月 ²	

¹1日10時間使用の場合の目安 ²1日5L使用の場合の目安

製品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更することがあります。



0113839000



www.blueair.com
Blueair Inc.
125 S Clark,
Suite 2000,
Chicago, IL, 60603 USA